Japan Geoscience Union Meeting 2011
(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

SVC052-01 会場:302 時間:5 月 26 日 14:15-14:30

セッション趣旨説明
Scope of the session

藤井 敏嗣 [1*]
Toshitsugu Fujii[1*]

[1]NPO 法人環境防災総合政策研究機構
[1]NPO CeMI

久野久氏は箱根火山発達史の研究を通じて世界の火山および火山岩の研究に多大な影響を与え，超塩基性捕獲岩の研究を通じてマントル岩石学の成立に貢献した．また，プレートテクトニクス確立前夜に，日本周辺の火山岩の研究に基づいて，沈みこみ帯のマグマ生成に関して革新的なモデルを提出し，後の実験岩石学進展のきっかけをつくった．彼はアポロ 11 号により採取された月試料を自ら分析することを切望しながら，1969 年 8 月 6 日に逝去された．彼の生誕 100 年を機に，その後の箱根火山形成史，火山岩岩石学，マントル岩石学，マグマ成因論，月の成因論の進展をレビューし，これからの展望を議論する．